



みくにだより

『ざくろ』を食べたことありますか？ 園長 細井 典子

みくに学園には、シンボルである「いちょうの木」の他にも何本か特長のあるある木があります。

『1本目の木』10月、鉄棒の近くに子どもたちが大勢集まっていました。足元にはオレンジ色の花のじゅうたん。何かほんのり甘い、いい香りがしています。その小さな手で一粒一粒拾ったのでしよう。手に持っていたカップの中にはオレンジ色の小さな花がいっぱい入っています。見上げると、大きな木にオレンジ色の花がいっぱい咲いていました。「きんもくせいだよ」「うーん、いいにおい」「わたし、このにおい、だいすき！」「これでケーキ作ろうか！」…。

『2本目の木』うさぎ小屋の近くには、黄色の平べったい花が咲く「バナナの木」があります。その花びらを拾うと『バナナ』のにおいがするので子どもたちには、この名前と呼ばれています。何年か前のことです。卒園生のゆう子さんが「あのバナナの木は本当は何という名前なんですか？」と聞くために、お母様と共に来園したことがありました。なんでも新しい家に引っ越しして、その庭に幼稚園の時に遊んだ「バナナの木」を植えたいと思いたったそうです。そして、その名前を聞きに来たのでした。正式には「カラタネオガタマ（大賀玉）」といいます。この『バナナ』のにおい、皆さんは、この香り嗅いだことがありますか？

『3本目の木』年長の皆さんに毎月お話をしてくださる柴田さんの木は、恐竜滑り台の近くにあります。卒園生でもある柴田さんの娘さんが、幼いころ拾ってきたどんぐりを家で植えたら、目が出て苗木になり、是非みくに学園の庭へと持ってきてくださった、どんぐりの木です。もうすぐ実がなるはずです。さて、どこにあるのでしょうか？今度探してみてください。

最後に、今年人気の木をご紹介します。というのも、植えてから30年以上を経て幹が太くなり、木登りするにはちょうどいい具合に成長した木でもあります。その当時、いちょう組の先生だったS先生が「早く花が咲いて実がなって皆を楽しませてくれますように…」と園庭の片隅に植えてくださったものです。最近では毎年春になるとオレンジ色の花が咲き、たまたま落ちた花を赤バッジや木バッジの小さい方たちが「たこさんウインナー」と名付けて、おままごとで遊んでいました。そして秋。その花が実となり熟してくると丸い実がパカッと割れて、中に赤い粒々のいっぱいつまった魅力的な実が見られるようになりました。この時、活躍したのは、年長の男の子たちです。ざくろの実を取ろうとして、四苦八苦。そして、挙句の果てには、枝を折ってしまったり、友達3~4人で相談して、その実を食べたとか、食べなかったとか…。それを見ていた人が先生に伝えに来て、先生におこられましたね！覚えていますか？大きくなったとき、大切な木との思い出、幼いころの思い出として、心に残ってくれるといいなあと思っています。

お店やさんごっこについて

11月13日(金)は、皆が楽しみにしている「お店やさんごっこ」です。今年度は残念ながら新型コロナウイルス感染予防のため、お家の方の朝の見学はありませんが、映像を通して、お知らせできるよう計画しています。例年と異なる点は、フロアごと3クラス内の交流となる点と牛乳キャップのお金を使用せずにカード形式になる点です。50円分の商品、5点を買いますの

でどのような物を買ってくるのか、期待しててください。

2F ほし組…おもちゃやさん つき組…コンビニ にじ組…マクドナルド

1F うめ組…水族館 ばら組…宇宙ショップ ふじ組…おもちゃやさん